

能代市地域公共交通計画（素案）に対する
意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 募集期間

令和6年1月24日（水）～2月22日（木）

2. 実施方法

能代市ホームページでの閲覧のほか、以下の場所に閲覧資料を備え付け、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの提出方法により意見を募集

（資料の閲覧場所）

- ・能代市役所本庁舎1階市民交流スペース行政情報コーナー、
- ・能代市役所二ツ井町庁舎1階市民フロア
- ・向能代・南・扇淵・檜山・鶴形・常盤の各地域センター、富根出張所

3. 提出のあった意見

1件（5項目）

4. 意見の概要及び意見に対する市の考え

番号	意見の概要	意見に対する市の考え
1	奥羽本線駅を東能代駅から能代駅にしてもらいたい（中心市街地からのほうが利便性が増すと思う）。	東能代駅－能代駅間の奥羽本線への編入によって、中心市街地と奥羽本線の市内各駅との接続が乗り換えなく可能となるため、利便性の向上に寄与することが期待されます。 しかし、既存の敷設線路や設備等ではこの実現は困難で、大規模な改修整備等が必要になるものと考えられます。 また、この駅間の利用者数は少なく、かつ、減少傾向にある現状を考慮すると、運営するJR東日本株式会社からこの方針に同意を得ることは、非常に困難と考えます。
2	能代駅近くにバスステーションを移転してもらいたい（バスを降りたらすぐ駅のほうが利便性が増すと思う）。コサクルなど利用した場合、終点が駅とバスステーションが近くにあれば便利と思う。	バスステーションは、重要な交通拠点の一つであり、能代駅付近に移転することによって、交通結節点としての機能が充実し、利便性の向上に寄与することが期待されます。 一方、バスステーションは民間事業者により整備されており、土地の確保や施設整備等、一定の費用が想定されることから、利用者の増加等といった効果により判断される

		<p>ものと考えます。</p> <p>バスステーションや能代駅を含む中心市街地でのアクセス性向上を図るため、本計画においては、施策4及び5に基づく事業を推進するとしております。</p> <p>バスステーションの能代駅付近への将来的な移転の可能性について、今後、バス事業者と意見交換をしてみたいと考えております。</p>
3	<p>冬場以外で、市役所・柳町イオン・能代駅・東能代駅・アクロス・イオンタウンに レンタルサイクルの設置してもらいたい。</p>	<p>現在、能代駅前にある「市民プラザ」でレンタサイクル（2台）のサービスを実施しております。しかし、利用者数は年間100人未満と、非常に少ない状況にあります。</p> <p>本計画の対象範囲の中で、新たに複数の拠点を設けたサービスを実施する場合、管理や財政の負担が必要となりますが、上記のサービス実績から見ても、効果はあまり期待できないと考えます。</p>
4	<p>東能代からイオンタウンのシャトルバスの廃止（他店との公平性がないため）、もしくは、日替わりでアクロスに行くなどしたほうがいい。</p>	<p>「イオンスタイル能代東シャトルバス」は、イオンタウン能代の収益向上のため、イオンが独自に運行する移動サービスです。</p>
5	<p>75歳以上1か月タクシー料金定額制導入（例えば、10回まで3000円など）</p>	<p>高齢者の移動に関する対策となるものですが、今後、大幅な人口減少と、さらなる高齢化率の上昇に伴い、財政運営はますます厳しくなるものと見込まれる中において、ご提案の実施は困難と考えます。</p>